

校長室の窓

みんなで育てる

— つながる教育 —



【何か質問はありませんか？】

いはい何とか乗り越えて、一人前の中学生に育っていきますが、中にはついていけない子も出てきます。中学1年が不登校や引きこもりとなる原因のひとつだといわれています。それを解消するためにかれこれ10年以上前から、異なる学校種間のスムーズな連携、いわゆる「小中連携」を行うようになりました。美和中学校区では、6年生が中学校の部活動を見学したり、中学生が各小学校で生活や学習の説明を行ったり、中学校の英語科の先生による出前授業を行ったりしています。



【服装のきまりは…】

ほんです。1年後、正則の6年生も立派に成長して、説明会にもどってきてくれることを願わずにはいませんでした。

環境の変化に適応させる取り組みは、小中連携だけでなく、幼保一小、中一高、高一大のそれぞれの校種で進められています。学校がつながることで、一人一人の子どもへの願いがつながります。今できないことも明日できるようになるかもしれない。明日できなくても、1年後、3年後にはできるようになるかもしれない。いや、できるようにしてやりたい。それが、担任から担任へ受け継ぐ願いです。保・幼・小・中・高・大等それぞれの学校で、250万余の保育士・教師たちが、今も2000万人以上の子どもたちを相手に、願いをつないでいます。



【メインは学校祭です】